

**【がん種】** [多発性骨髄腫](#)  
**【レジメン名】** Isatuximab①1コース目  
**【登録番号】** 011360  
**【1コースの期間】** 4週間  
**【投与間隔調整規定】** コース間: -1日、day8, 15, 22: ±1日  
**【総コース数】** 1コースまで(忍容性があればIsatuximab②2コース目～を施行する)  
**【催吐性リスク】** 軽度: サークリサ  
**【抗がん剤の組織障害性】** ノンビシカント(非壊死性): サークリサ  
**【投与量に制限のある薬剤】** なし  
**【主な有害事象】** 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、疲労、傾眠、悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、便秘

**【必要な検査】** 一般採血、治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。  
**【根拠論文】** Blood 2021;137:1154-1165.

**【点滴の時間】** [初回]約6時間, [2回目～]約5時間45分。  
**【その他】** サークリサ: 治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日									
					1	...	8	...	15	...	22	...	28	
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		○		○		○			
2	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回	内服	1日1回 サークリサ投与30分前	○		○		○		○			
3	生理食塩液 50mL ソル・メドロール静注用 125mg ボラミン注 5mg/1mL ファモチジン注射用 20mg	1 B 1 V 1 A 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○		○		○		○			
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○		○		○		○			
5	生理食塩液 250mL サークリサ点滴静注 初回 175mg/hで開始、1時間後から30分毎に50mg/hずつ速度を上げ、最大400mg/hまで	1 B 20 mg/kg	側管	フィルター使用 全量250mLに調製	○									
6	生理食塩液 250mL サークリサ点滴静注 2回目～ 175mg/hで開始、開始から1時間後275mg/h、90分後375mg/h、2時間後400mg/h	1 B 20 mg/kg	側管	フィルター使用 全量250mLに調製			○		○		○			

【Isatuximab①1コース目減量・休薬・中止基準】

サークリサ点滴静注 添付文書 2021年11月改訂(第3版)

有害事象	Grade	休薬・中止
注入に伴う反応	2	Grade1以下になるまでサークリサ休薬する。回復後、87.5mg/hの投与速度で再開する。注入に伴う反応の再発がない場合は、30分ごとに50mg/hずつ最大400mg/hまで投与速度を上げる。
	3 $\leq$	治療中止
好中球数減少	3 $\leq$	Grade2以下になるまでサークリサ休薬